



ビジネスレポート 2025

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

幼児活動研究会株式会社

● 株主の皆様へ



代表取締役社長

山下孝一

人を喜ばす
社風を確立する

山下孝一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2025年3月31日をもちまして、第53期(2024年4月1日～2025年3月31日)を終了致しましたので、ご挨拶申し上げます。

第53期は、「一流のプロになる」を掲げて経営を行ってまいりました。そして、困っているお客さまの役に立ち、さらに必要とされる会社になるため社員一丸となり前進することができました。その結果、課外クラブ会員数は67,955人、正課体育指導契約会場数は1,279園、課外指導会場数は1,300園となり、売上高7,073百万円(前期比1.8%増)、経常利益1,240百万円(前期比10.5%減)、当期純利益872百万円(前期比9.6%減)となりました。また当期の1株当たりの期末配当金は、前期より1円増配で24円とさせていただきます。

現在、超少子化が進むなか、幼稚園、保育園、こども園は、「選ばれる園」と「苦戦する園」との二極化が進んでいます。実際の園の現場を深く理解している私たちだからこそ、持続可能な園経営を支援し、園経営と幼児教育の両面から園をサポートし、時代の変化を味方につけながら選ばれる園づくりを支援するコンサルティングに注力し、幼児教育業界をリードしてまいり

ます。

日本にとって最大の資源は昔も今もこれからも「人財」です。人財は教育によって生まれ、育ちます。すべての国にとって子供は国の未来を背負う存在です。私たちは大事な教育、体育教育・幼児教育で日本の国力を高め祖国日本人類世界に貢献してまいります。そのために私たちは以下の目標を掲げて進んでいきます。

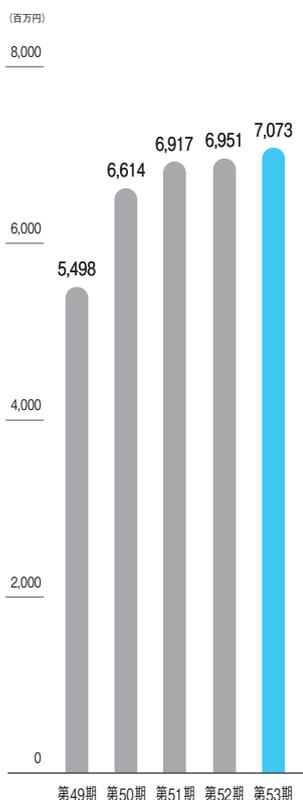
- ①人を喜ばす世界一の企業になる
- ②国のため、人のためになる人間として、学び続ける
- ③社員一人ひとりが会社を誇り、仲間上司を誇り、喜びをもって働ける会社にする
- ④子供たちが誇れる日本にする、私たちの生き方・仕事で実現する

私たちは平和な日本という恵まれた環境で、信頼できる仲間と共に働けることを心から感謝しています。そして、これからも共に成長し、社会に貢献していけることを誇りに思い、全力で取り組んでまいります。

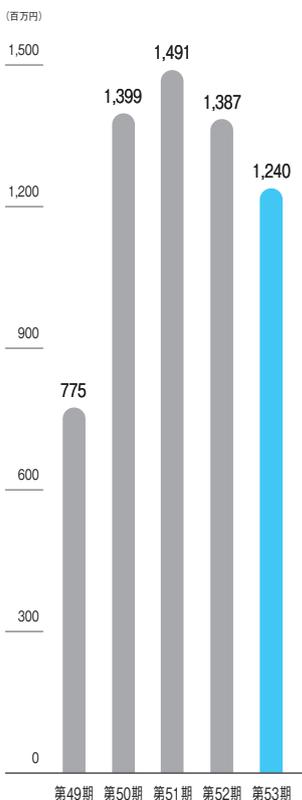
株主の皆様には、当社の事業活動と成長戦略にご理解を賜り、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務 ハイライト

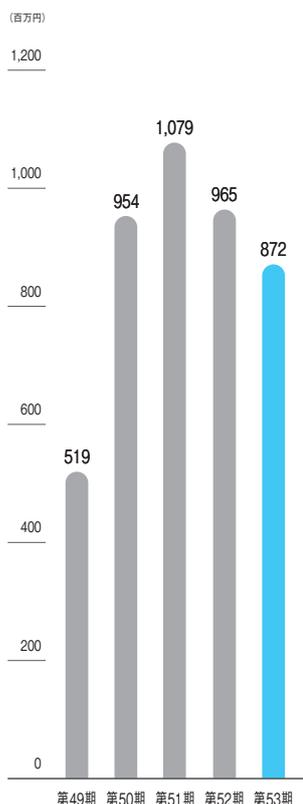
売上高



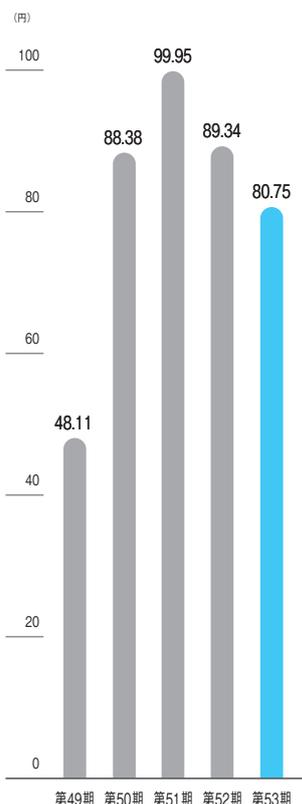
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



事業の概要

幼児活動研究会株式会社は、正課体育指導をはじめとする幼児体育指導関連事業と、コンサルティング関連事業を手掛けております。



当社の強み

当社が形成づける参入障壁は、次のような要素によって構成されております。

- ### 顧客との信頼関係

 - 大事な子供を預かるという幼稚園・保育園・こども園のもつ役割
 - 何より重視されるのは安全性
 - これらに配慮したアプローチが重要
- ### 資産の有効活用

 - 信頼関係がもたらす付帯設備の共有というメリット（課外体育指導）
 - 資産の維持・管理コスト軽減、業務効率の向上・財務健全性に寄与
- ### 市場のもつ特有性

 - 合理性より社会性を重んじる業界
 - 利益追求型でなく高い公衆道徳性に沿った選択肢が取られる傾向

幼児体育指導関連事業

■ 正課体育指導

園の方針に合わせさらなる園発展を願って

当社の創業の原点である正課体育指導では、従業員が体操の先生として幼稚園・保育園・こども園に赴き、保育時間内（正課）に行われる体育の授業を受けもちます。園を特色づけるカリキュラムは、保護者が園を選別する際の重要なポイントになります。



■ 課外体育指導

子供の可能性を引き出し伸ばす

保育時間終了後（課外）に園の施設を借用して、当社が展開するクラブは、子供の可能性を引き出し伸ばし育てる指導を行っています。失敗しても諦めない、乗り越えるという小さな成功体験を積み上げ、やればできる自信を育てます。



■ 療育事業

自立する人間の土台をつくる

当社が長い年月をかけ築き上げた実績と経験を、療育事業に展開しております。できないことに目を向けるのではなく「やりたい」と思ってもらい、主体的に取り組める環境を作ります。子供の「楽しい！」が「できた！」に繋がる指導をします。また、体操を通して子供の生活や感情の安定に繋がります。



■ イベント企画

今まで経験したことのない感動、喜びを

普段慣れ親しんだ園、親元を離れ、自然や外の世界に触れることで、子供たちの好奇心や感受性はますます研ぎ澄まされていきます。人格の基本を形成づけるこの時期に、自分でできることを主体的に取り組めるようサポートし、自発力や協調性を育みます。



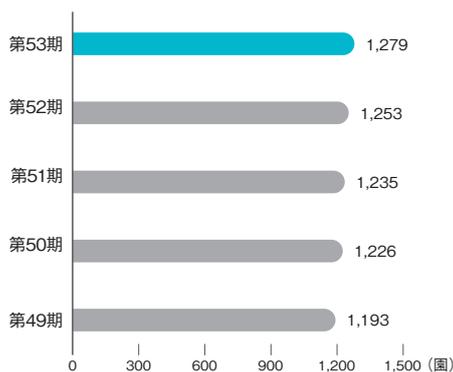
コンサルティング関連事業

園の全面的サポートをし地域にとってなくてはならない園へ

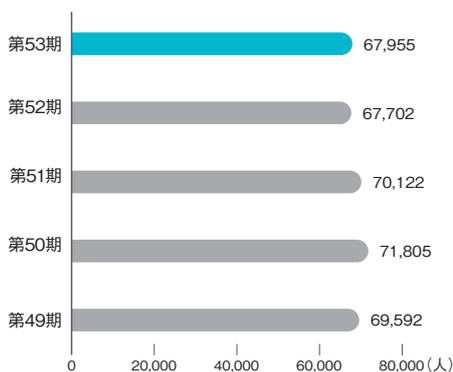
社内で共有した情報を基に、園児募集、職員育成、後継者、採用等、お客さまの困りごとを数々のプラン、アドバイスを提供し解決します。園経営については、園発展の相談役になり、園の組織・仕組み作り、よき園風づくりに貢献し、園の全面的サポートをします。



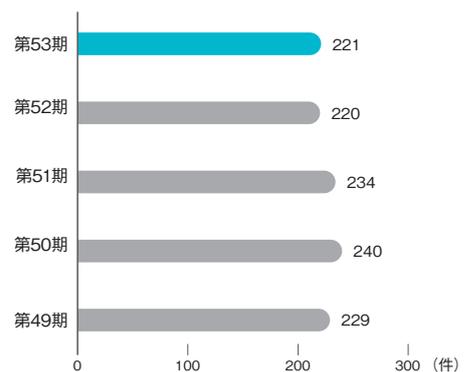
● 正課体育指導契約会場数（期末）



● 課外クラブ会員数（期末）



● コンサルティング件数（期末）



会社概要

会社名 幼児活動研究会株式会社
本社住所 東京都品川区西五反田二丁目11番17号
設立 昭和47年(1972年)9月
資本金 513,360,000円
代表者 代表取締役社長 山下孝一
従業員数 575名
事業所 北海道、青森、山形、宮城、福島、栃木、群馬、新潟、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、山梨、愛知、富山、石川、福井、長野、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山、広島、福岡、長崎、鹿児島、沖縄 他

役員 (2025年6月24日現在)

代表取締役 山下 孝一
専務取締役 広田 照彰
取締役 川田 伸
取締役 久賀 満雄
取締役 山下 明子
取締役 八田 哲夫
取締役(社外) 大野 俊一
常勤監査役 川口 弘之
監査役(社外) 山崎 正俊
監査役(社外) 曲淵 博史

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月24日
株主確定基準日 3月31日
上場市場 東京証券取引所 スタンダード
証券コード 2152
株式の売買単位 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本(各)支店で行っております。

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式総数 11,784,000株
(自己株式981,450株を含む)
株主総数 1,204名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社山善	3,962,000	36.68
株式会社UH Partners 2	1,085,300	10.05
山下 明子	1,020,160	9.44
光通信株式会社	808,800	7.49
コスモ従業員持株会	538,408	4.98
山下 孝一	304,560	2.82
株式会社エスアイエル	263,700	2.44
株式会社UH Partners 3	257,600	2.38
アイザワ証券グループ株式会社	208,000	1.93
東京中小企業投資育成株式会社	200,000	1.85

(注) 上記大株主の状況欄には、当社が保有する自己株式を除いております。
当社は、自己株式を981,450株所有しており、発行済株式総数に対する割合は8.33%であります。

